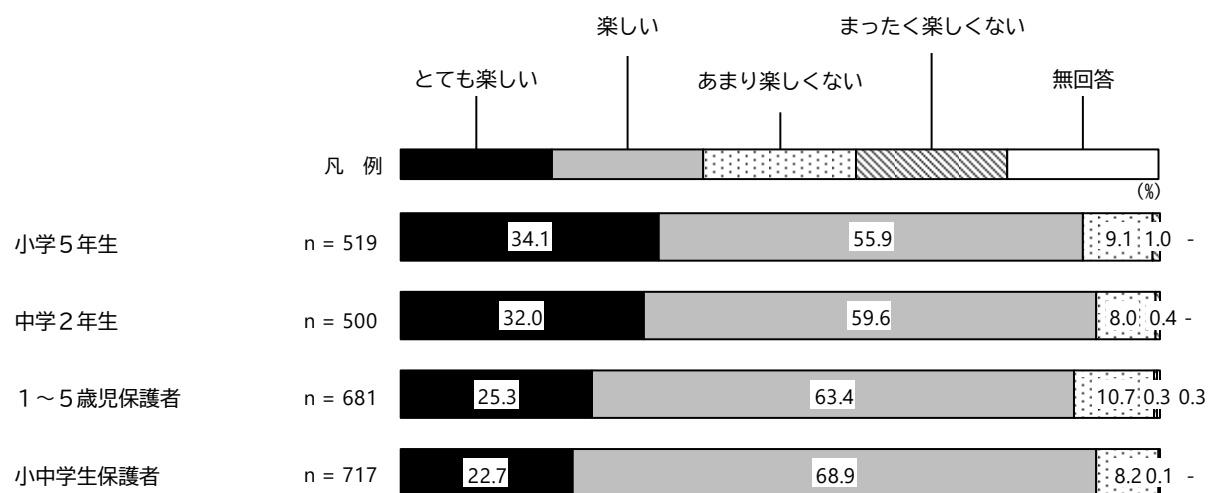


Ⅱ 共通設問まとめ

1 食生活等について

1-1 食事の時間は楽しいか

- ▶ 食事の時間は楽しいかについて、いずれの対象者も「楽しい」が6割程度と最も高くなっています。
- ▶ 《楽しい》（「とても楽しい」+「楽しい」の合計）はいずれの対象者も約9割を占めています。

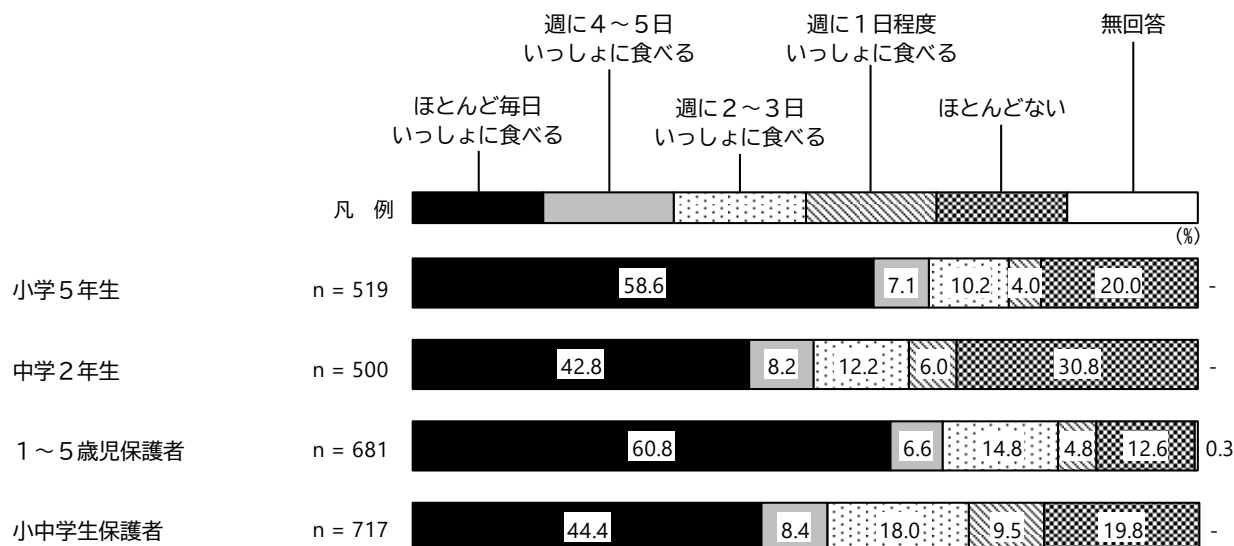


	H27年基準値	R3年中間評価	R7年調査	R8年目標値
食事の時間が楽しいと思う人の割合	小学5年生	小学5年生	小学5年生	小学5年生
	86.5%	85.4%	90.0%	90.0%以上
	中学2年生	中学2年生	中学2年生	中学2年生
	86.6%	93.9%	91.6%	90.0%以上

II 共通設問まとめ

1-2-1 家族といっしょに食事する頻度（朝食）

- ▶ 家族といっしょに食事する頻度（朝食）について、「ほとんど毎日いっしょに食べる」が1～5歳児保護者で60.8%と最も高く、小学5年生で58.6%、中学2年生で42.8%、小中学生保護者で44.4%となっています。
- ▶ 中学2年生、小中学生保護者では「ほとんど毎日いっしょに食べる」と回答した人の割合が、小学5年生、1～5歳児保護者に比べて低くなっています。



【家族といっしょに食事する頻度（朝食）の比較】

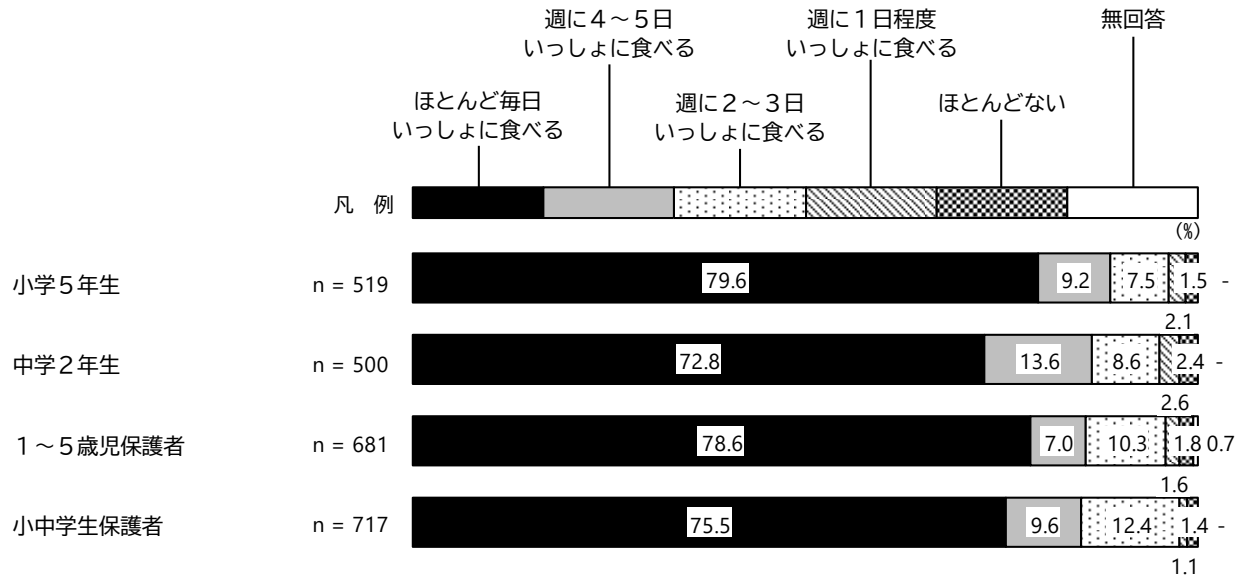
	富谷市				国 (農林水産省)
	小学5年生	中学2年生	1～5歳児保護者	小中学生保護者	
ほとんど毎日いっしょに食べる	58.6%	42.8%	60.8%	44.4%	42.9%
週に4～5日 いっしょに食べる	7.1%	8.2%	6.6%	8.4%	7.0%
週に2～3日 いっしょに食べる	10.2%	12.2%	14.8%	18.0%	10.3%
週に1日程度 いっしょに食べる	4.0%	6.0%	4.8%	9.5%	9.2%
ほとんどない	20.0%	30.8%	12.6%	19.8%	27.0%

※国データ(20歳以上)と本調査データ(子どもと子育て世代)の調査対象が大きく異なるため参考値として掲載する。

資料：食育に関する意識調査(農林水産省_令和7年)

1-2-2 家族といっしょに食事する頻度（夕食）

▶ 家族といっしょに食事する頻度（夕食）について、いずれの対象者も「ほとんど毎日いっしょに食べる」が7割を超え最も高くなっています。



【家族といっしょに食事する頻度（夕食）の比較】

	富谷市				国 (農林水産省)
	小学5年生	中学2年生	1~5歳児保護者	小中学生保護者	
ほとんど毎日いっしょに食べる	79.6%	72.8%	78.6%	75.5%	63.3%
週に4~5日いっしょに食べる	9.2%	13.6%	7.0%	9.6%	10.5%
週に2~3日いっしょに食べる	7.5%	8.6%	10.3%	12.4%	12.3%
週に1日程度いっしょに食べる	2.1%	2.6%	1.6%	1.1%	4.0%
ほとんどない	1.5%	2.4%	1.8%	1.4%	6.1%

※国データ(20歳以上)と本調査データ(子どもと子育て世代)の調査対象が大きく異なるため参考値として掲載する。

資料：食育に関する意識調査(農林水産省_令和7年)

II 共通設問まとめ

	H27 年基準値	R3 年中間評価	R7 年調査	R8 年目標値
朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数	小学 5 年生	小学 5 年生	小学 5 年生	小学 5 年生
	中間評価で調査	10.8 回	10.9 回	週 11 回以上
	中学 2 年生	中学 2 年生	中学 2 年生	中学 2 年生
	中間評価で調査	9.5 回	9.7 回	週 11 回以上

朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の算出方法

算出方法については、農林水産省「食育に関する意識調査」の共食算出方法と同様の方法で算出しています。

(例) 令和 7 年度小学 5 年生の算出

【朝食】

	ほとんど毎日 いっしょに 食べる	週に 4~5 日 いっしょに 食べる	週に 2~3 日 いっしょに 食べる	週に 1 日程度 いっしょに 食べる	ほとんど ない	
回数	7 回	4.5 回	2.5 回	1 回	0 回	
回答者数	304	37	53	21	104	…①
朝食 (計)	2128	166.5	132.5	21	0	…②
⇒②の合計÷①の合計=1 週間の朝食の共食回数の平均…★						

【夕食】

	ほとんど毎日 いっしょに 食べる	週に 4~5 日 いっしょに 食べる	週に 2~3 日 いっしょに 食べる	週に 1 日程度 いっしょに 食べる	ほとんど ない	
回数	7 回	4.5 回	2.5 回	1 回	0 回	
回答者数	413	48	39	11	8	…①
夕食 (計)	2891	216	97.5	11	0	…②
⇒②の合計÷①の合計=1 週間の夕食の共食回数の平均…★						

・ 1 週間の共食の回数を「ほとんど毎日いっしょに食べる」=7 回、「週に 4~5 日いっしょに食べる」=4.5 回、「週に 2~3 日いっしょに食べる」=2.5 回、「週に 1 日程度いっしょに食べる」=1 回、「ほとんどない」=0 回として、各選択肢の回答者数を掛け合わせる

…②

・ 上記で掛け合わせた各選択肢の合計を算出…②の合計

・ 各選択肢の回答者数の合計を算出…①の合計

・ 朝食/夕食それぞれで、②の合計÷①の合計をして平均を出す…★

・ それぞれの平均を合計する

上記で算出した 1 週間の朝食/夕食の共食の回数の平均 (★) の合計が、朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数となる。

令和7年調査の共食回数は以下の通りとなっています。

【朝食】

対象者	項目	ほとんど毎日いっしょに食べる	週に4~5日いっしょに食べる	週に2~3日いっしょに食べる	週に1日程度いっしょに食べる	ほとんどない	無回答	合計	共食回数(回) ※ [回数×回答者数の合計/回答者数の合計]
小学5年生	回数(回)	7	4.5	2.5	1	0			4.7
	回答者数(人)	304	37	53	21	104	0	519	
	回数×回答者数(計)	2128	166.5	132.5	21	0	0	2448	
中学2年生	回数(回)	7	4.5	2.5	1	0			3.7
	回答者数(人)	214	41	61	30	154	0	500	
	回数×回答者数(計)	1498	184.5	152.5	30	0	0	1865	
1~5歳児保護者	回数(回)	7	4.5	2.5	1	0			5.0
	回答者数(人)	414	45	101	33	86	2	681	
	回数×回答者数(計)	2898	202.5	252.5	33	0	0	3386	
小中学生保護者	回数(回)	7	4.5	2.5	1	0			4.0
	回答者数(人)	318	60	129	68	142	0	717	
	回数×回答者数(計)	2226	270	322.5	68	0	0	2886.5	

【夕食】

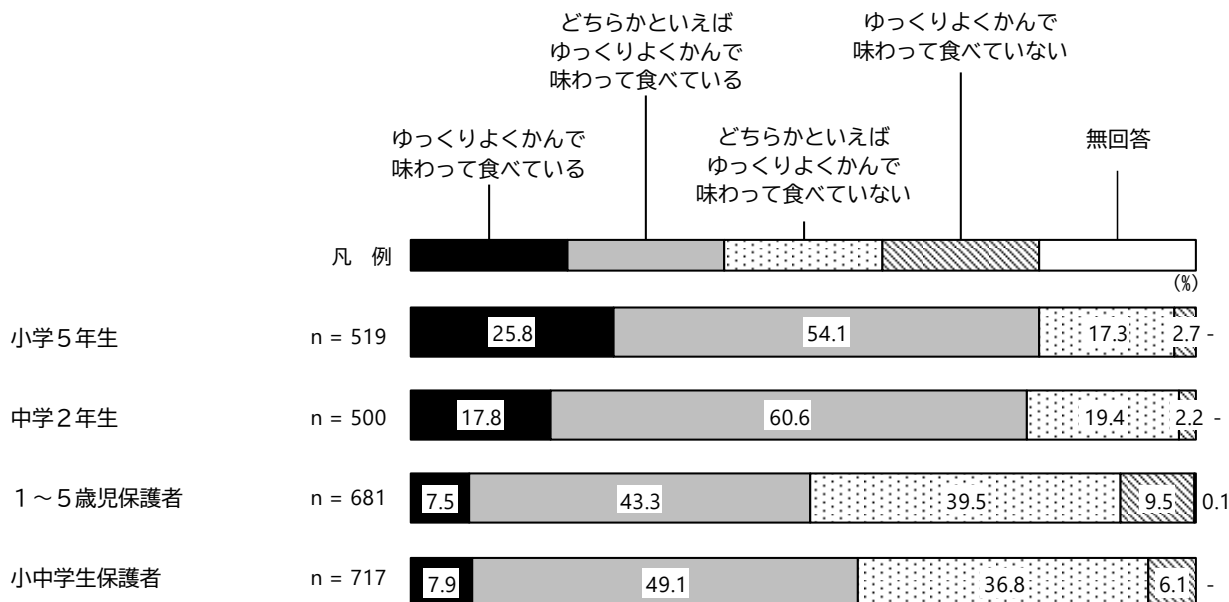
対象者	項目	ほとんど毎日いっしょに食べる	週に4~5日いっしょに食べる	週に2~3日いっしょに食べる	週に1日程度いっしょに食べる	ほとんどない	無回答	合計	共食回数(回) ※ [回数×回答者数の合計/回答者数の合計]
小学5年生	回数(回)	7	4.5	2.5	1	0			6.2
	回答者数(人)	413	48	39	11	8	0	519	
	回数×回答者数(計)	2891	216	97.5	11	0	0	3215.5	
中学2年生	回数(回)	7	4.5	2.5	1	0			5.9
	回答者数(人)	364	68	43	13	12	0	500	
	回数×回答者数(計)	2548	306	107.5	13	0	0	2974.5	
1~5歳児保護者	回数(回)	7	4.5	2.5	1	0			6.1
	回答者数(人)	535	48	70	11	12	5	681	
	回数×回答者数(計)	3745	216	175	11	0	0	4147	
小中学生保護者	回数(回)	7	4.5	2.5	1	0			6.0
	回答者数(人)	541	69	89	8	10	0	717	
	回数×回答者数(計)	3787	310.5	222.5	8	0	0	4328	

【朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数】

	朝食(回)	夕食(回)	合計(回)
小学5年生	4.7	6.2	10.9
中学2年生	3.7	5.9	9.7
1~5歳児保護者	5.0	6.1	11.1
小中学生保護者	4.0	6.0	10.1

1-3 ふだんゆっくりよくかんで食べているか

- ▶ ふだんゆっくりよくかんで食べているかについて、いずれの対象者も「どちらかといえばゆっくりよくかんで味わって食べている」が最も高くなっています。
- ▶ 一方で、「どちらかといえばゆっくりよくかんで味わって食べていない」は子どもでは約2割となっていますが、保護者では約4割となっています。



【ふだんゆっくりよくかんで食べているかの比較】

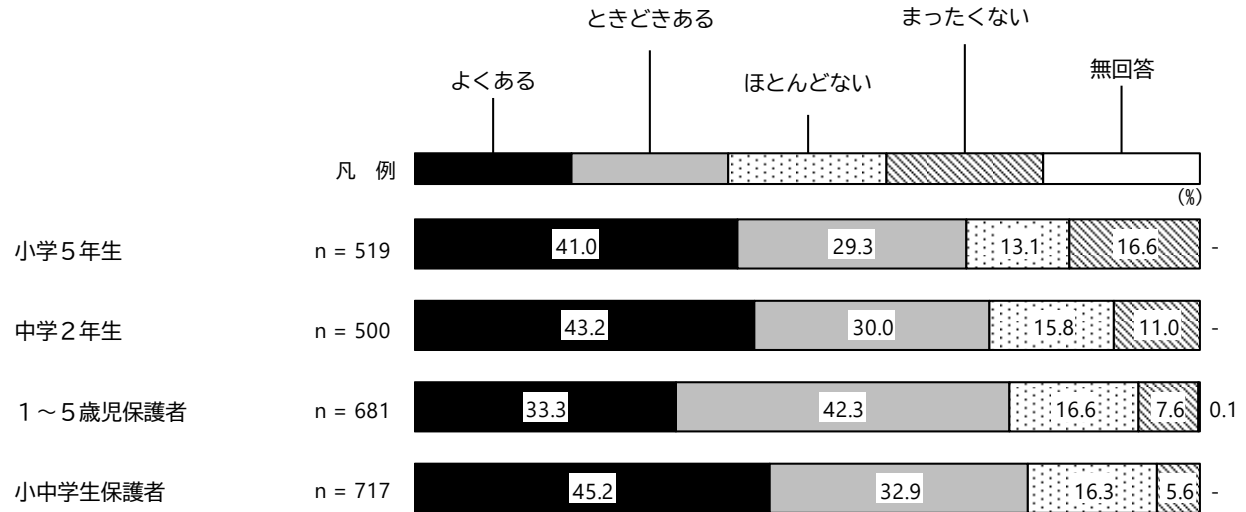
	富谷市				国 (農林水産省)
	小学5年生	中学2年生	1～5歳児保護者	小中学生保護者	
ゆっくりよくかんで味わって食べている	25.8%	17.8%	7.5%	7.9%	9.0%
どちらかといえばゆっくりよくかんで味わって食べている	54.1%	60.6%	43.3%	49.1%	38.6%
どちらかといえばゆっくりよくかんで味わって食べていない	17.3%	19.4%	39.5%	36.8%	40.6%
ゆっくりよくかんで味わって食べていない	2.7%	2.2%	9.5%	6.1%	10.7%

※国データ(20歳以上)と本調査データ(子どもと子育て世代)の調査対象が大きく異なるため参考値として掲載する。

資料: 食育に関する意識調査(農林水産省_令和7年)

1-4 食事中にテレビ、スマートフォン（携帯電話）、タブレット、ゲームなどを見たり使ったりすることはあるか

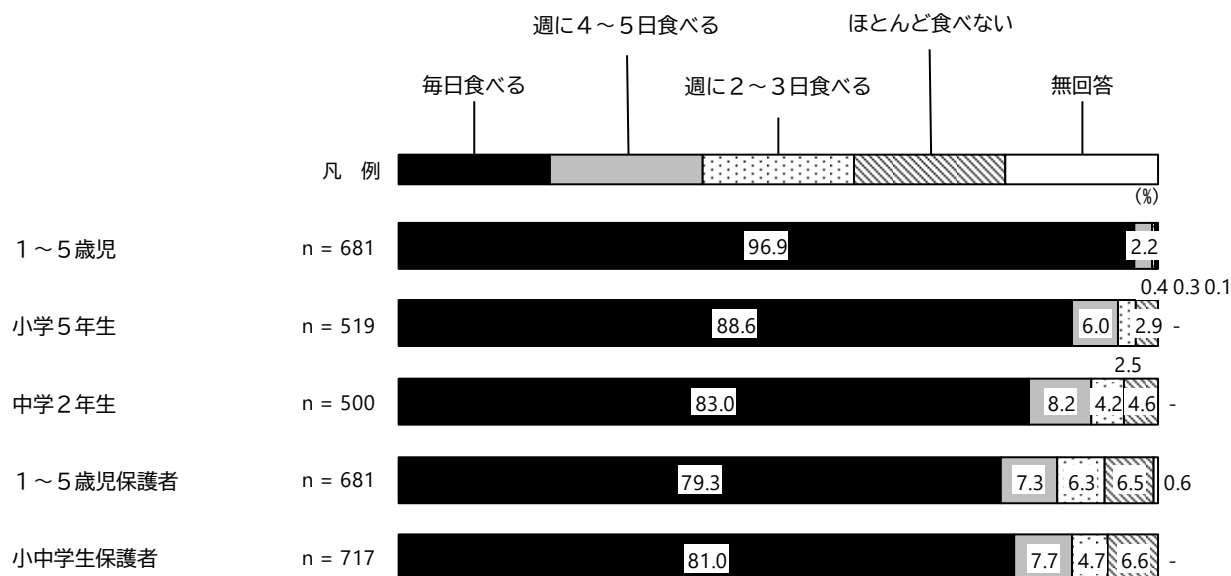
- ▶ 《ある》（「よくある」＋「ときどきある」の合計）の割合は、いずれの対象者も7割を超えています。
- ▶ 《ある》の割合は、子どもに比べて保護者の方が高くなっています。



II 共通設問まとめ

1-5 朝食を食べるか

- ▶ 朝食を食べるかについて、「毎日食べる」の割合は、保護者は8割前後、子どもは8割～9割程度となっています。



	H22年調査値※	H27年基準値	R3年中間評価	R7年調査	R8年目標値
朝食を毎日食べる人の割合	1～5歳児	1～5歳児	1～5歳児	1～5歳児	1～5歳児
	-	98.0%	97.2%	96.9%	98.0%以上
	小学5年生	小学5年生	小学5年生	小学5年生	小学5年生
	4.3%	95.3%	80.0%	88.6%	98.0%以上
	中学2年生	中学2年生	中学2年生	中学2年生	中学2年生
	9.2%	88.2%	82.7%	83.0%	98.0%以上
	1～5歳児保護者	1～5歳児保護者	1～5歳児保護者	1～5歳児保護者	1～5歳児保護者
-	88.0%	80.6%	79.3%	90.0%以上	
小中学生保護者	小中学生保護者	小中学生保護者	小中学生保護者	小中学生保護者	
-	83.1%	88.5%	81.0%	90.0%以上	

※平成22年調査値は朝食の欠食率となっている。

【朝食を食べるかの比較】

	富谷市					国 (農林水産省)	宮城県
	1 ～ 5 歳児	小学 5 年生	中学 2 年生	1 ～ 5 歳児 保護者	小 中 学 生 保護者		
毎日食べる	96.9%	88.6%	83.0%	79.3%	81.0%	82.3%	78.3%
週に4～5日食べる	2.2%	6.0%	8.2%	7.3%	7.7%	7.3%	6.1%
週に2～3日食べる	0.4%	2.5%	4.2%	6.3%	4.7%	1.7%	4.9%
ほとんど食べない	0.3%	2.9%	4.6%	6.5%	6.6%	8.8%	8.7%

※国・県データ(20歳以上)と本調査データ(子どもと子育て世代)の調査対象が大きく異なるため参考値として掲載する。

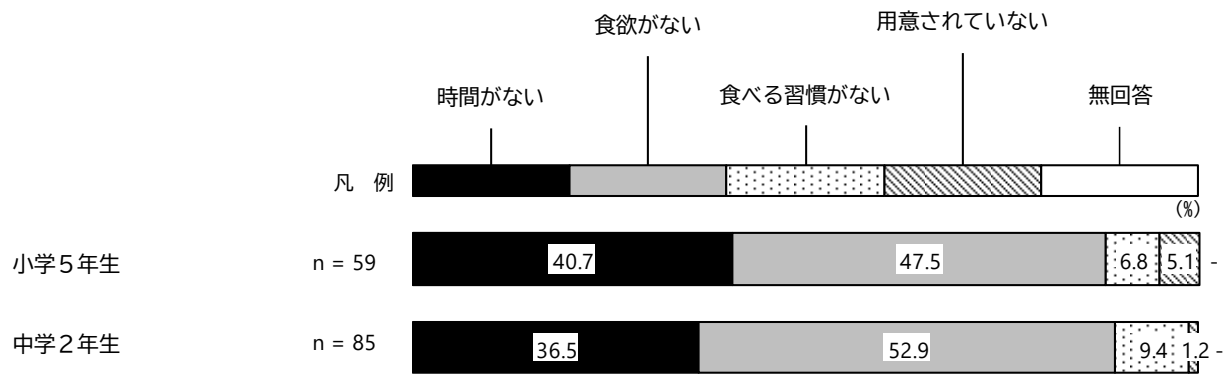
※宮城県では選択肢が「毎日食べる」「週に2～3日食べない」「週に4～5日食べない」「ほとんど食べない」だったため、「週に2～3日食べない」⇒「週に4～5日食べる」、「週に4～5日食べない」⇒「週に2～3日食べる」に読み替えを行っている。

資料:食育に関する意識調査(農林水産省_令和7年)

宮城県県民健康・栄養調査(宮城県_令和4年)

1-6 朝食を食べない理由

▶ 朝食を食べない理由について、「食欲がない」が最も高く、小学5年生は47.5%、中学2年生で52.9%となっています。



1-7 朝食を食べるために必要なこと

▶ 朝食を食べるために必要なことについて、1～5歳児保護者では「自分で朝食を用意する時間があること」が49.6%、小中学生保護者では「朝、食欲があること」が54.4%と最も高くなっています。

	n	自分で朝食を用意する時間がかからないこと	自分で朝食を用意する時間があること	朝早く起きられること	夕食や夜食を食べすぎていないこと	朝、食欲があること	ダイエットの必要がないこと	朝食を食べる習慣があること	朝食を食べるメリットを知っていること	夜遅くまで残業するなど労働時間や環境に無理がないこと	家に朝食が用意されていること	外食やコンビニ等で手軽に朝食をとることが出来る環境があること	その他	無回答
1～5歳児保護者	137	48.2	49.6	37.2	6.6	37.2	8.8	29.9	13.1	12.4	8.8	8.0	5.8	1.5
小中学生保護者	136	37.5	45.6	35.3	13.2	54.4	7.4	34.6	21.3	12.5	11.0	3.7	2.2	-

【朝食を食べるために必要なことの比較】

	富谷市		国 (農林水産省)
	1～5歳児保護者	小中学生保護者	
自分で朝食を用意する時間がかからないこと	48.2%	37.5%	38.3%
自分で朝食を用意する時間があること	49.6%	45.6%	42.8%
朝早く起きられること	37.2%	35.3%	40.9%
夕食や夜食を食べすぎていないこと	6.6%	13.2%	10.1%
朝、食欲があること	37.2%	54.4%	45.2%
ダイエットの必要がないこと	8.8%	7.4%	9.9%
朝食を食べる習慣があること	29.9%	34.6%	33.8%
朝食を食べるメリットを知っていること	13.1%	21.3%	17.0%
夜遅くまで残業するなど労働時間や環境に無理がないこと	12.4%	12.5%	20.4%
家に朝食が用意されていること	14.6%	11.0%	17.2%
外食やコンビニ等で手軽に朝食をとることが出来る環境があること	8.0%	3.7%	8.2%
その他	5.8%	2.2%	3.7%

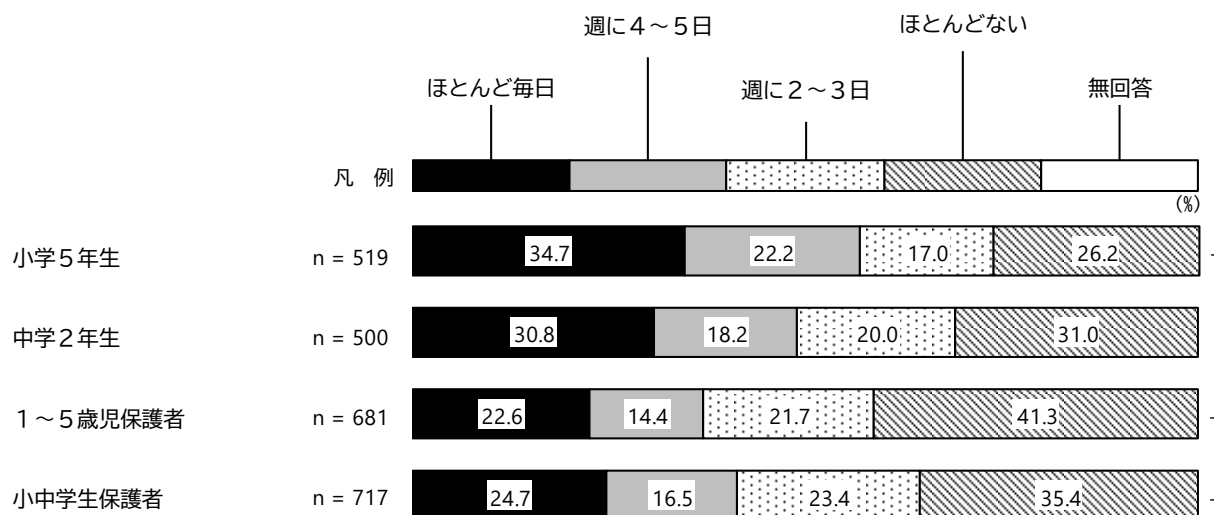
※国データ(20歳以上)と本調査データ(子どもと子育て世代)の調査対象が大きく異なるため参考値として掲載する。

資料: 食育に関する意識調査(農林水産省_令和7年)

II 共通設問まとめ

1-8 朝食で、主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度

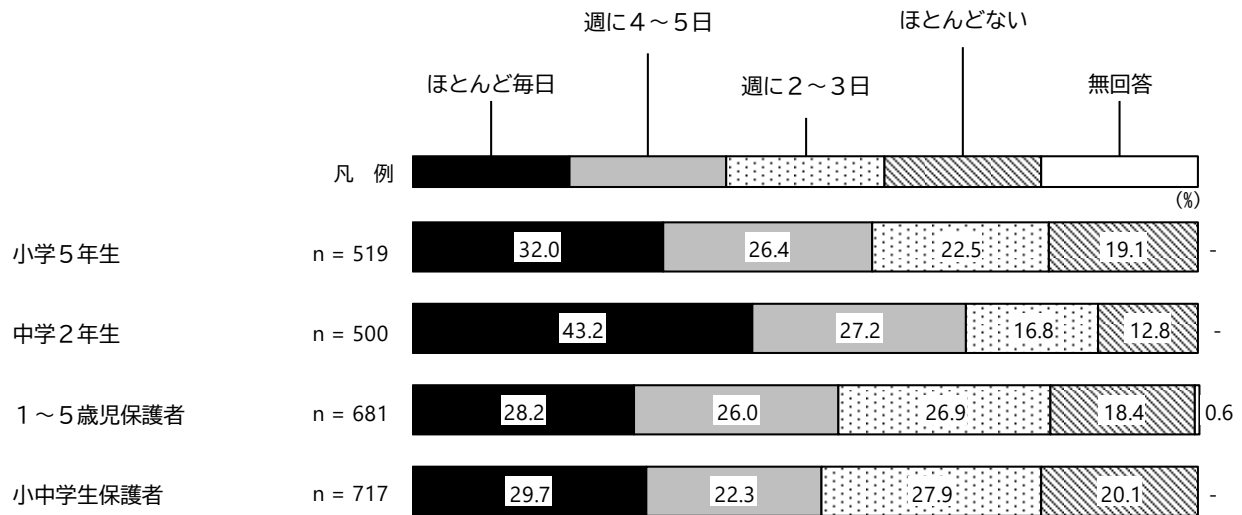
- ▶ 朝食で、主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度について、「ほとんど毎日」が子どもでは3割台に対し、保護者では2割台と、子どもに比べて保護者の割合が低くなっています。



	H27年基準値	R3年中間評価	R7年調査	R8年目標値
主食・主菜・副菜を揃えた朝食をほとんど毎日食べる人の割合	小学5年生	小学5年生	小学5年生	小学5年生
	34.0%	25.9%	34.7%	50.0%以上
	中学2年生	中学2年生	中学2年生	中学2年生
	32.2%	23.8%	30.8%	45.0%以上
	1~5歳児保護者	1~5歳児保護者	1~5歳児保護者	1~5歳児保護者
21.7%	14.0%	22.6%	35.0%以上	
小中学生保護者	小中学生保護者	小中学生保護者	小中学生保護者	
27.0%	17.4%	24.7%	40.0%以上	

1-9 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることが1日2回以上あるか

- ▶ 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることが1日2回以上あるかについて、いずれの対象者も「ほとんど毎日」が最も高くなっています。
- ▶ 特に、中学2年生では「ほとんど毎日」が43.2%と他の対象者よりも高くなっています。



【主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることが1日2回以上あるかの比較】

	富谷市				国 (農林水産省)
	小学5年生	中学2年生	1~5歳児保護者	小中学生保護者	
ほとんど毎日	32.0%	43.2%	28.2%	29.7%	36.8%
週に4~5日	26.4%	27.2%	26.0%	22.3%	24.6%
週に2~3日	22.5%	16.8%	26.9%	27.9%	25.8%
ほとんどない	19.1%	12.8%	18.4%	20.1%	12.3%

※国データ(20歳以上)と本調査データ(子どもと子育て世代)の調査対象が大きく異なるため参考値として掲載する。

資料: 食育に関する意識調査(農林水産省_令和7年)

II 共通設問まとめ

1-10 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の回数を増やすために必要なこと

- ▶ 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の回数を増やすために必要なことについて、1～5歳児保護者及び小中学生保護者ともに「時間があること」が8割を超え、最も高くなっています。

(%)

	n	時間があること	手間がかからないこと	食費に余裕があること	自分で用意することが出来ること	食欲があること	家に用意されていること	3つそろえて食べるメリットを知っていること(必要性を感じていること)	外食やコンビニ等で手軽に食事をとることが出来る環境があること	その他	わからない	無回答
1～5歳児保護者	485	84.7	74.6	50.5	25.2	11.1	15.1	7.6	3.5	4.3	0.2	1.2
小中学生保護者	504	82.9	73.2	53.8	25.6	13.5	9.3	13.9	2.2	1.8	0.4	-

【主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の回数を増やすために必要なことの比較】

	富谷市		国 (農林水産省)
	1～5歳児保護者	小中学生保護者	
時間があること	84.7%	82.9%	47.5%
手間がかからないこと	74.6%	73.2%	61.4%
食費に余裕があること	50.5%	53.8%	43.7%
自分で用意することが出来ること	25.2%	25.6%	28.5%
食欲があること	11.1%	13.5%	16.9%
家に用意されていること	15.1%	9.3%	16.6%
3つそろえて食べるメリットを知っていること(必要性を感じていること)	7.6%	13.9%	15.8%
外食やコンビニ等で手軽に食事をとることが出来る環境があること	3.5%	2.2%	13.2%
その他	4.3%	1.8%	2.5%
わからない	0.2%	0.4%	-

※国データ(20歳以上)と本調査データ(子どもと子育て世代)の調査対象が大きく異なるため参考値として掲載する。

※農林水産省では「わからない」の選択肢なし。

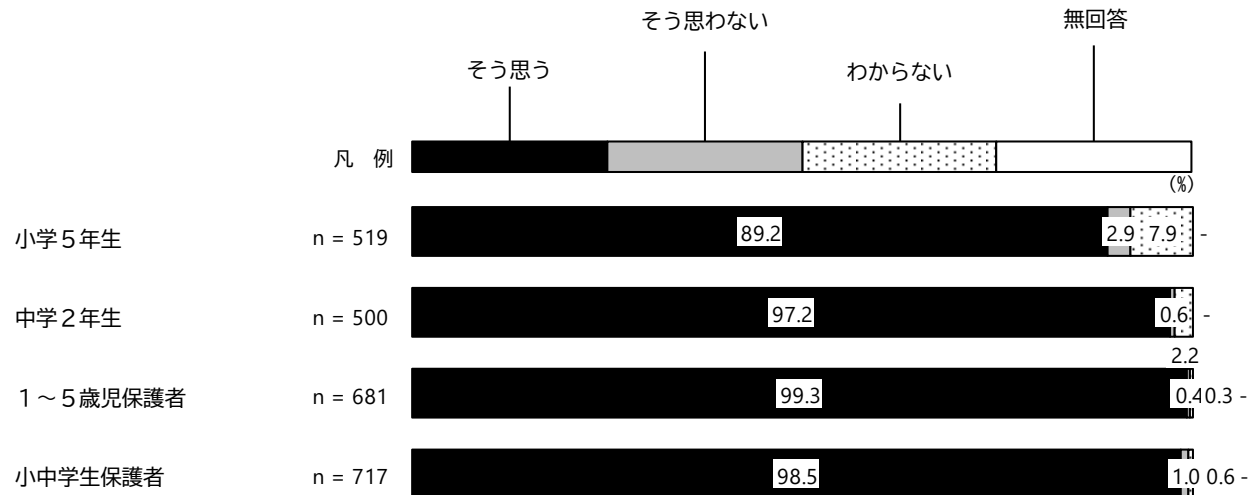
※農林水産省では3つまで回答する設問となっている。

資料:食育に関する意識調査(農林水産省_令和7年)

1-11 『主食・主菜・副菜を組み合わせた食事』だと思うか

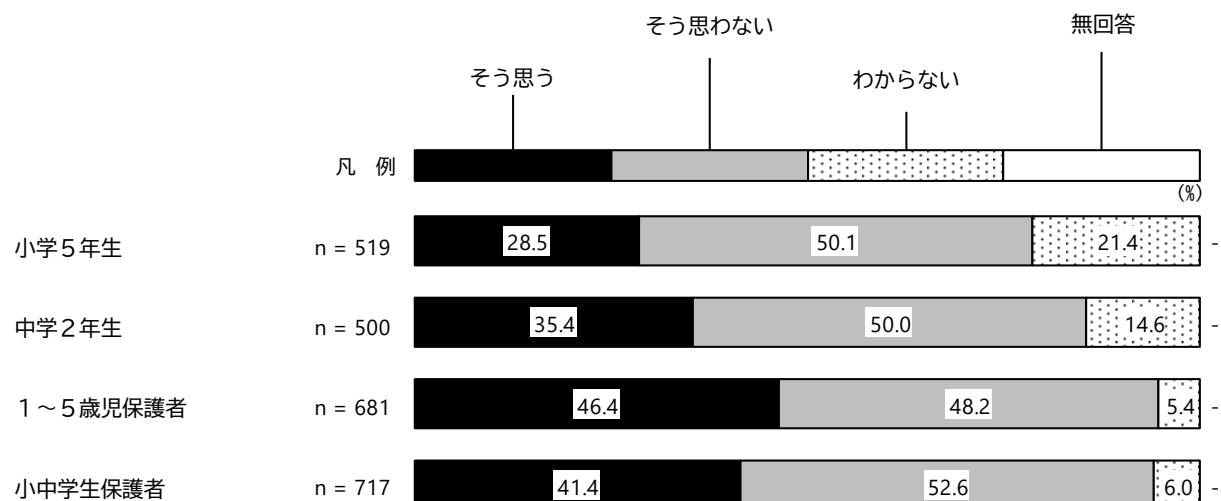
①ごはん・焼き魚・とうふとわかめのみそ汁・ほうれん草のおひたし

▶ 『主食・主菜・副菜を組み合わせた食事』だと思うかについて、ごはん・焼き魚・とうふとわかめのみそ汁・ほうれん草のおひたしでは、「そう思う」と回答した人の割合は、いずれの対象者も約9割を占めています。



②ミートソーススパゲティと野菜スープ

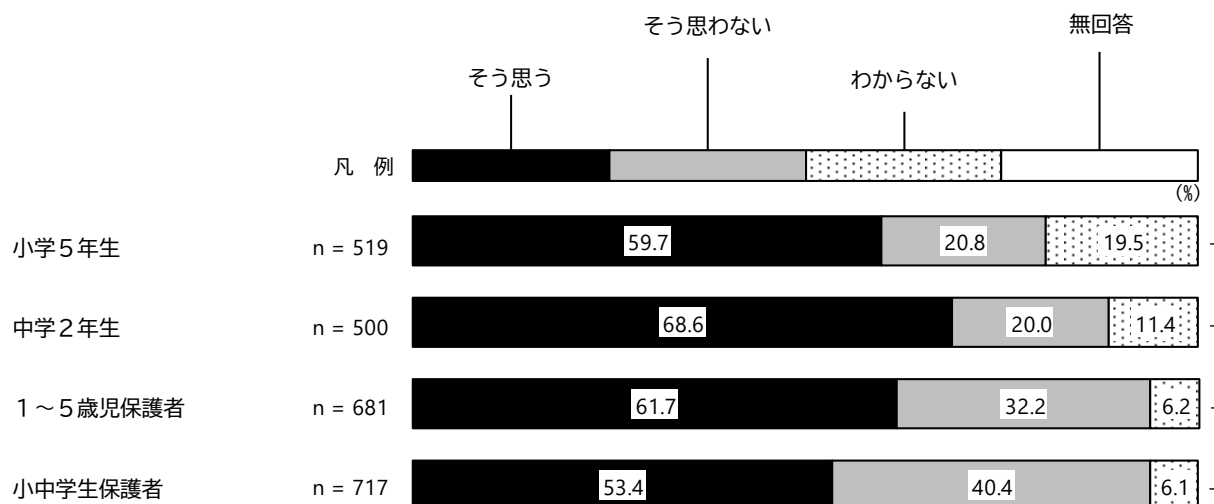
▶ ミートソーススパゲティと野菜スープでは、本問の①～④の食事の中で唯一、いずれの対象者も「そう思わない」が「そう思う」を上回っています。



II 共通設問まとめ

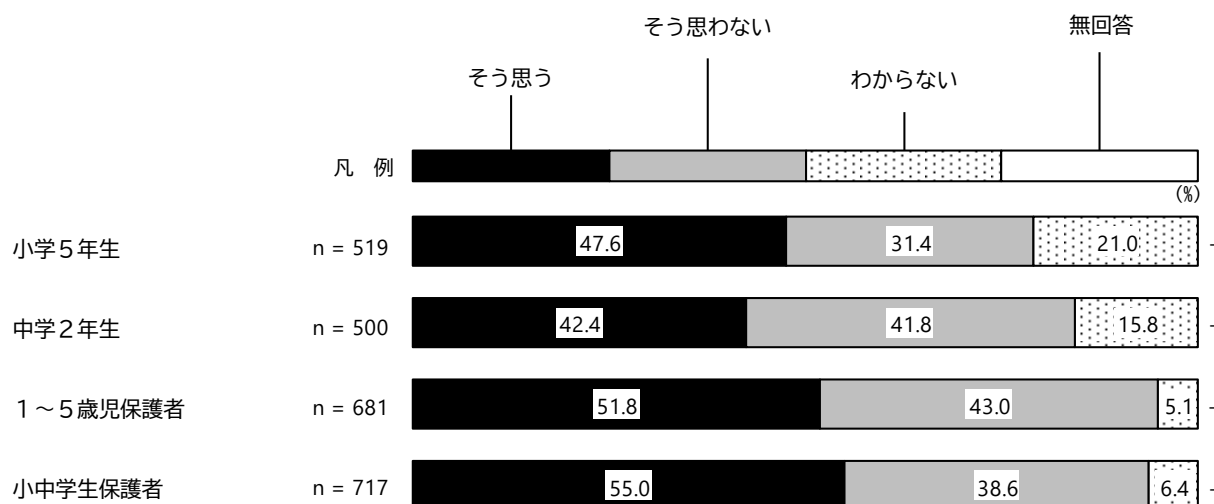
③カレーライスとサラダ

- ▶ カレーライスとサラダでは、いずれの対象者でも「そう思う」と回答した人の割合は、「そう思わない」の割合を上回っています。



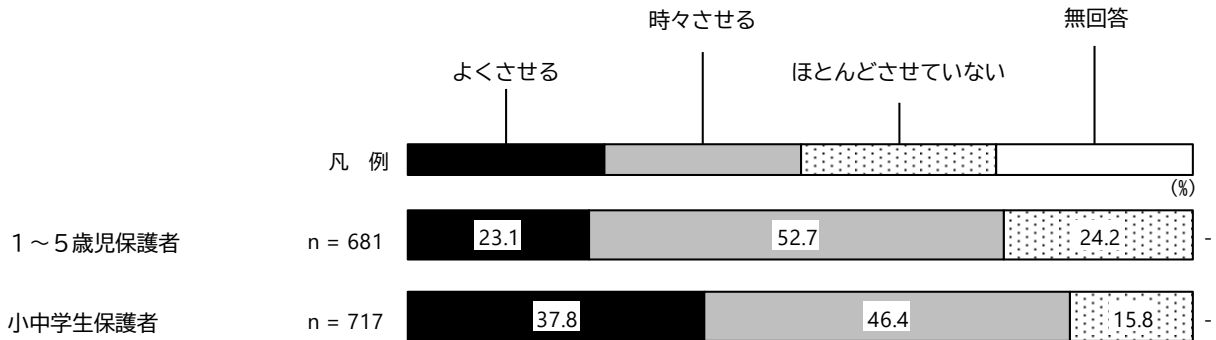
④納豆ごはんと具たくさん汁

- ▶ 納豆ごはん和具たくさん汁では、いずれの対象者でも「そう思う」と回答した人の割合は、「そう思わない」の割合を上回っています。



1-12 子どもに家で食事の手伝いをさせているか

- ▶ 子どもに家で食事の手伝いをさせているかについて、「時々させる」が最も高く、1～5歳児保護者では52.7%、小中学生保護者では46.4%となっています。
- ▶ 《手伝いをさせる》（「よくさせる」＋「時々させる」の合計）の割合は、小中学生保護者で84.2%と1～5歳児保護者（75.8%）と比べて10ポイント程度高くなっています。

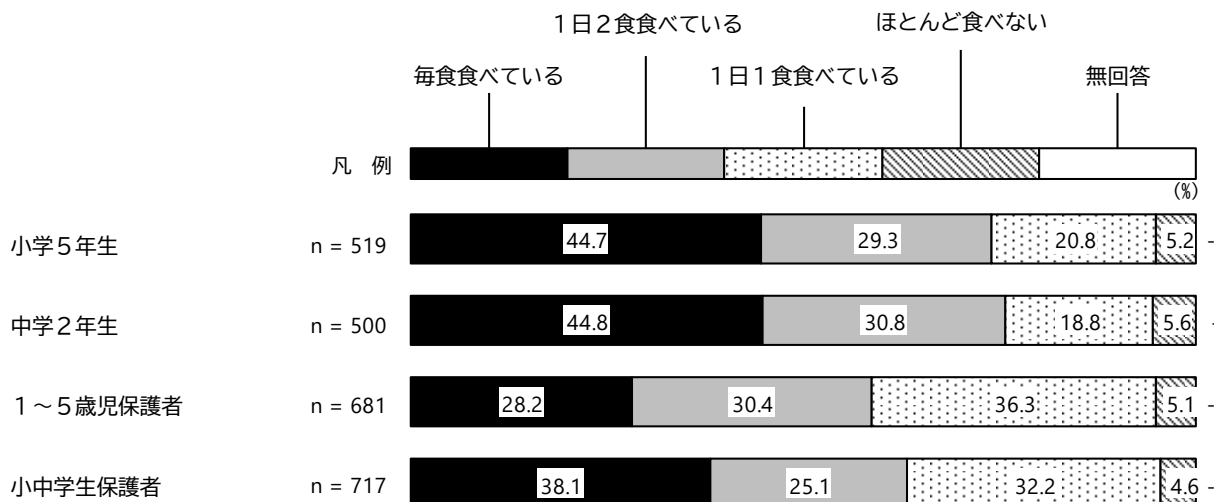


	H27年基準値	R3年中間評価	R7年調査	R8年目標値
子どもに家で食事の手伝いをさせている人の割合	1～5歳児保護者	1～5歳児保護者	1～5歳児保護者	1～5歳児保護者
	72.1%	73.8%	75.8%	90.0%以上
	小中学生保護者	小中学生保護者	小中学生保護者	小中学生保護者
	82.1%	84.0%	84.2%	90.0%以上

II 共通設問まとめ

1-13 野菜を食べているか

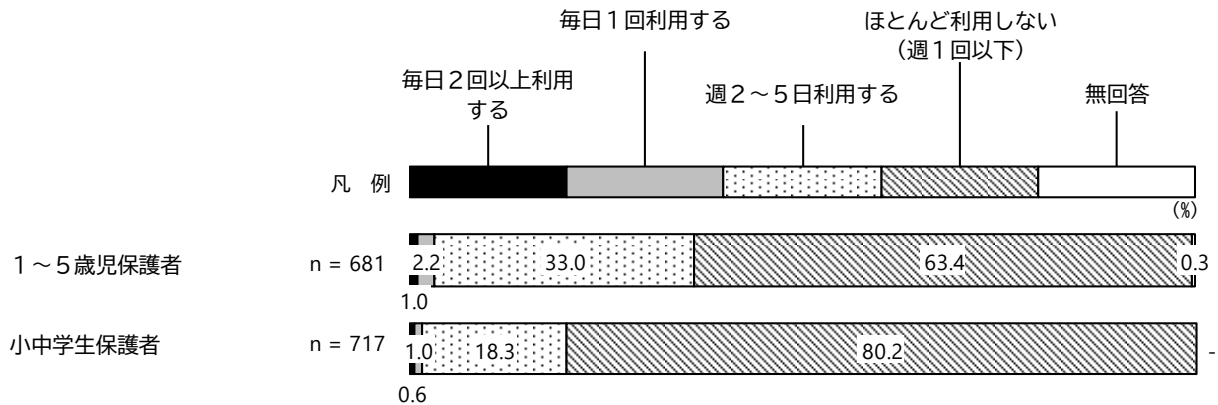
- ▶ 野菜を食べているかについて、「毎食食べている」が1～5歳児保護者を除き、小学5年生で44.7%、中学2年生で44.8%、小中学生保護者で38.1%と4割程度で最も高くなっています。
- ▶ 一方で、1～5歳児保護者では「1日1食食べている」が36.3%と最も高くなっており、「毎食食べている」は28.2%にとどまっています。



	H22年調査	H27年基準値	R3年中間評価	R7年調査	R8年目標値
野菜を毎食食べる人の割合	小学5年生	小学5年生	小学5年生	小学5年生	小学5年生
	39.1%	39.9%	42.2%	44.7%	50.0%以上
	中学2年生	中学2年生	中学2年生	中学2年生	中学2年生
	56.1%	50.2%	50.2%	44.8%	60.0%以上
	1～5歳児保護者	1～5歳児保護者	1～5歳児保護者	1～5歳児保護者	1～5歳児保護者
-	37.2%	46.6%	28.2%	50.0%以上	
小中学生保護者	小中学生保護者	小中学生保護者	小中学生保護者	小中学生保護者	
-	37.6%	50.5%	38.1%	50.0%以上	

1-14 外食の利用頻度

- ▶ 外食の利用頻度について、「ほとんど利用しない（週1回以下）」が最も高く、1～5歳児保護者で63.4%、小中学生保護者で80.2%となっています。
- ▶ 小中学生保護者では、「ほとんど利用しない」が80.2%と、1～5歳児保護者（63.4%）に比べて10ポイント以上高くなっています。



【外食の利用頻度の比較】

	富谷市		宮城県
	1～5歳児保護者	小中学生保護者	
毎日2回以上利用する	1.0%	0.6%	0.6%
毎日1回利用する	2.2%	1.0%	1.3%
週2～5日利用する	33.0%	18.3%	13.5%
ほとんど利用しない(週1回以下)	63.4%	80.2%	84.6%

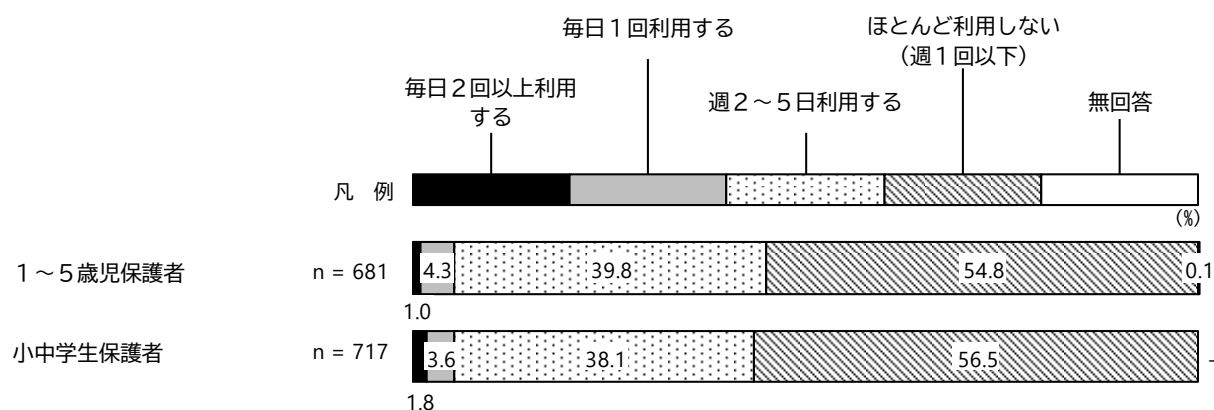
※県データ(20歳以上)と本調査データ(子どもと子育て世代)の調査対象が大きく異なるため参考値として掲載する。

資料：宮城県県民健康・栄養調査(宮城県_令和4年)

II 共通設問まとめ

1-15 市販の弁当や総菜の利用頻度

- ▶ 市販の弁当や総菜の利用頻度について、いずれの保護者も「ほとんど利用しない（週1回以下）」が5割以上と高くなっています。



【市販の弁当や総菜の利用頻度の比較】

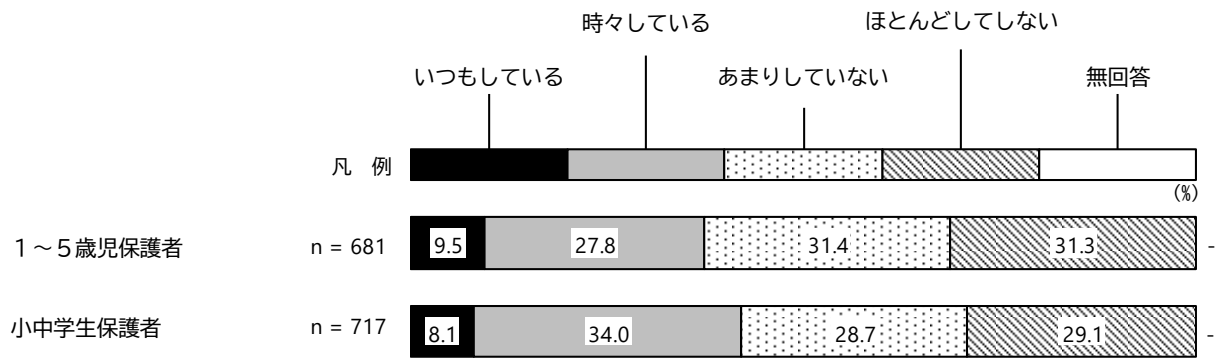
	富谷市		宮城県
	1~5歳児保護者	小中学生保護者	
毎日2回以上利用する	1.0%	1.8%	2.3%
毎日1回利用する	4.3%	3.6%	5.4%
週2~5日利用する	39.8%	38.1%	29.8%
ほとんど利用しない(週1回以下)	54.8%	56.5%	62.6%

※県データ(20歳以上)と本調査データ(子どもと子育て世代)の調査対象が大きく異なるため参考値として掲載する。

資料：宮城県県民健康・栄養調査(宮城県_令和4年)

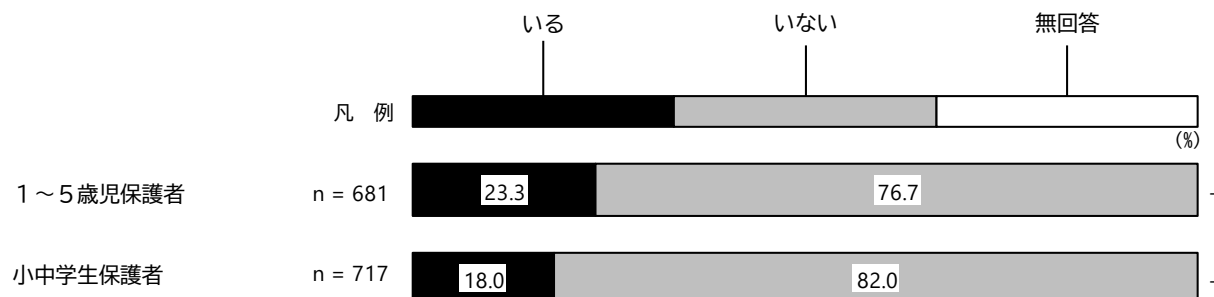
1-16 外食時や食品購入時に栄養成分表示を参考にしているか

▶ 外食時や食品購入時に栄養成分表示を参考にしているかについて、いずれの保護者も《参考にしている》(「いつもしている」+「時々している」の合計)の割合は約4割となっています。



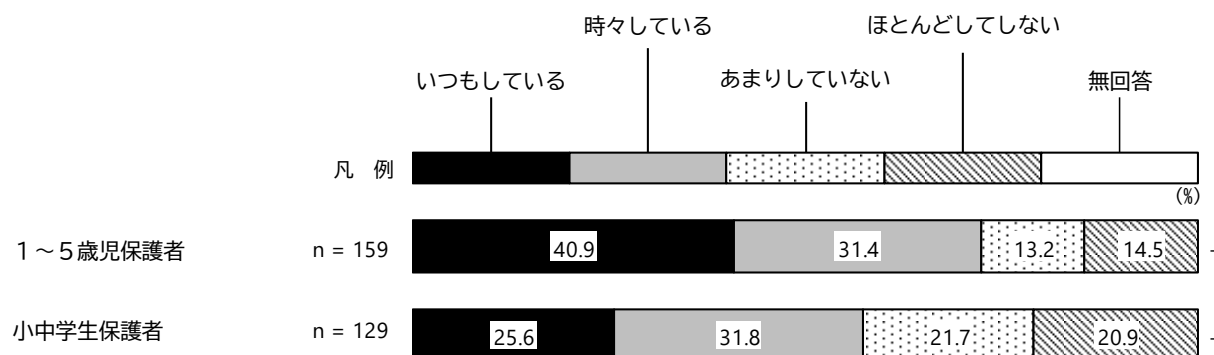
1-17 自身また家族に食物アレルギーがある人はいるか

- ▶ 自身また家族に食物アレルギーがある人はいるかについて、いずれの保護者も「いる」が2割程度となっています。



1-18 食品購入時や飲食店選択時にアレルギーの表示を参考に使っているか

- ▶ 食品購入時や飲食店選択時にアレルギーの表示を参考に使っているかについて、《参考にしている》(「いつもしている」+「時々している」の合計)の割合は、1~5歳児保護者で72.3%と、小中学生保護者(57.4%)に比べて10ポイント以上高くなっています。



1-19 食事を準備する際に負担だと思うこと

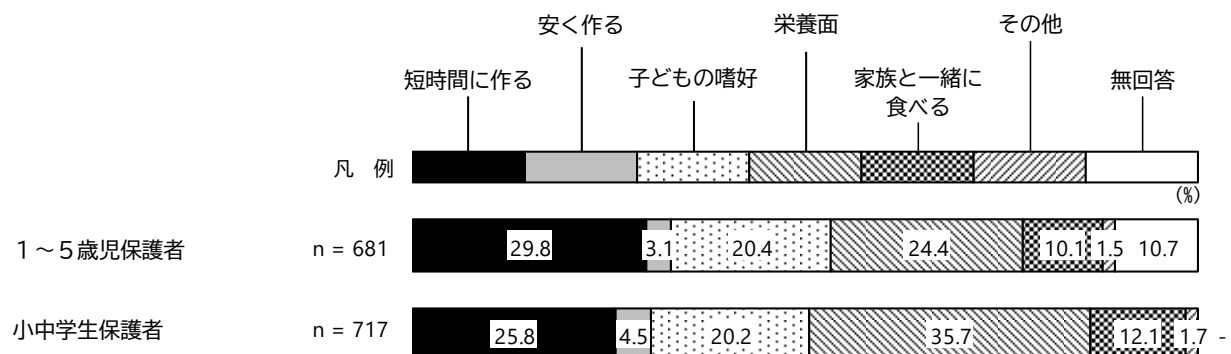
- ▶ 食事を準備する際に負担だと思うことについて、いずれの保護者も「献立を考えるのが大変」が7割を超え、最も高くなっています。
- ▶ 1～5歳児保護者では、「作る時間がない」(53.7%)及び「作っても子どもが食べない」(44.2%)が小中学生保護者(前者42.4%、後者26.2%)に比べて10ポイント以上高くなっています。

(%)

	n	献立を考えるのが大変	作る時間がない	作っても子どもが食べない	料理作りが苦手	食材を買う時間がない	家族の協力がでない	経済的に余裕がない	その他	無回答
1～5歳児保護者	681	74.2	53.7	44.2	30.1	16.0	14.5	14.0	6.2	0.4
小中学生保護者	717	78.7	42.4	26.2	30.1	12.3	17.3	13.4	6.6	-

1-20 食事を準備する際に重視すること

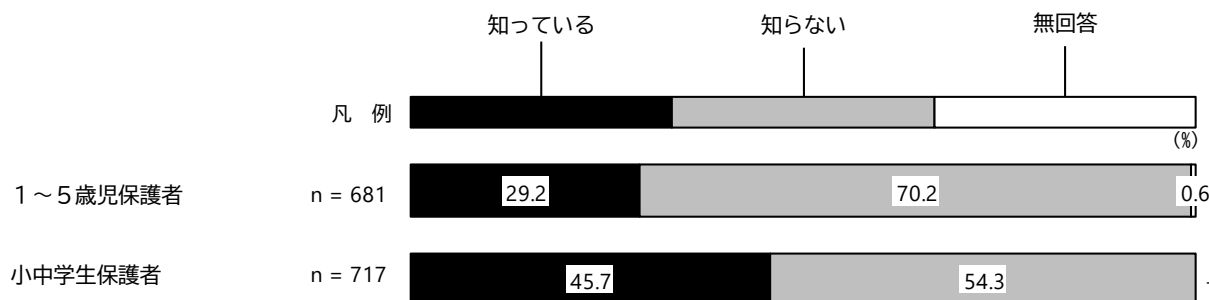
- ▶ 食事を準備する際に重視することについて、1～5歳児保護者では「短時間に作る」が29.8%と最も高くなっている一方、小中学生保護者では「栄養面」が35.7%と最も高くなっています。



2 富谷市の農産物や食について

2-1 富谷市産農産物の入手先の認知度

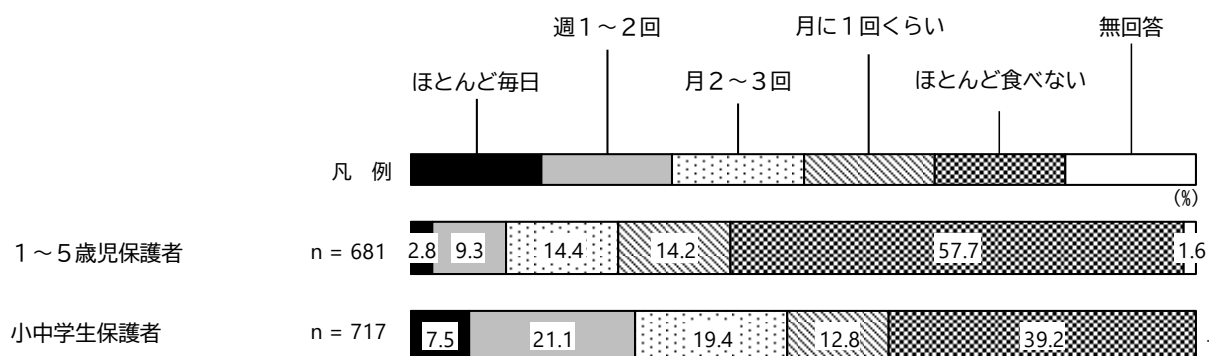
- ▶ 富谷市産農産物の入手先の認知度について、1～5歳児保護者では「知っている」が29.2%と、小中学生保護者（45.7%）に比べて10ポイント以上低くなっています。



	H27年基準値	R3年中間評価	R7年調査	R8年目標値
富谷市産の農産物がどこで入手できるか知っている人の割合	1～5歳児保護者 48.2%	1～5歳児保護者 41.7%	1～5歳児保護者 29.2%	1～5歳児保護者 80.0%以上
	小中学生保護者 50.2%	小中学生保護者 56.0%	小中学生保護者 45.7%	小中学生保護者 80.0%以上

2-2 家で黒川地域産の農産物を食べる頻度

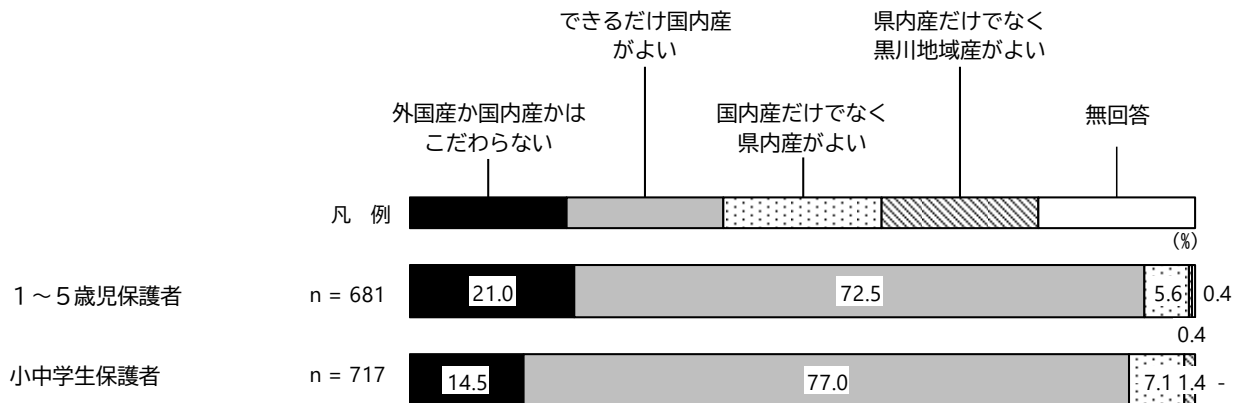
- ▶ 家で黒川地域産の農産物を食べる頻度について、いずれの保護者も「ほとんど食べない」が最も高く、1～5歳児保護者で57.7%、小中学生保護者で39.2%となっています。
- ▶ 1～5歳児保護者では、「ほとんど食べない」が小中学生保護者に比べて10ポイント以上高くなっています。



	H27年基準値	R3年中間評価	R7年調査	R8年目標値
家で黒川地域産の農産物を月に1回以上食べる人の割合	1～5歳児保護者 60.0%	1～5歳児保護者 53.4%	1～5歳児保護者 40.7%	1～5歳児保護者 80.0%以上
	小中学生保護者 66.5%	小中学生保護者 65.6%	小中学生保護者 60.8%	小中学生保護者 80.0%以上

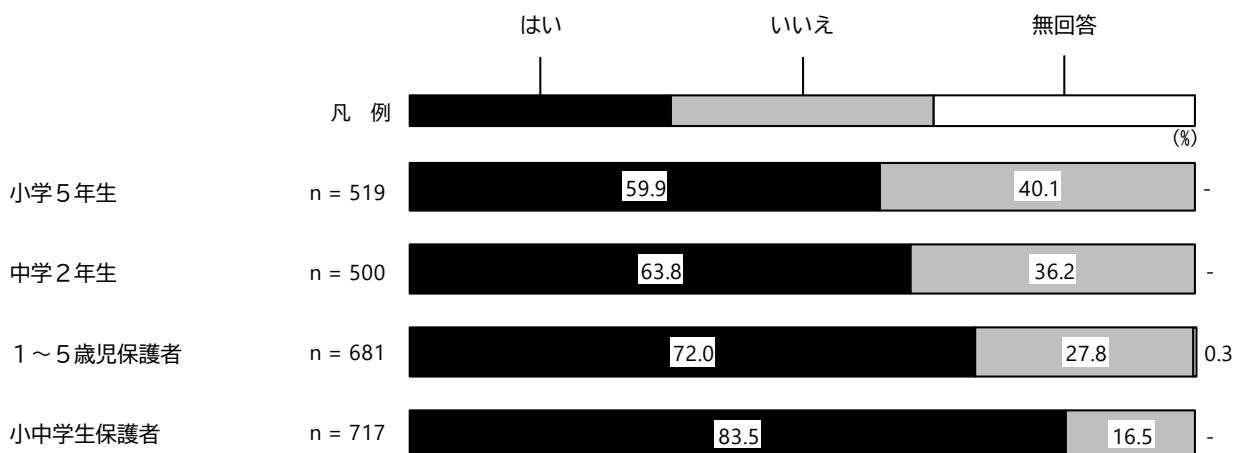
2-3 農産物を購入する際の産地についての考え方

▶ 農産物を購入する際の産地についての考え方については、いずれの保護者も「できるだけ国内産がよい」が7割を超え、最も高くなっています。



2-4 普段食品ロスを意識して何かに取り組んでいるか

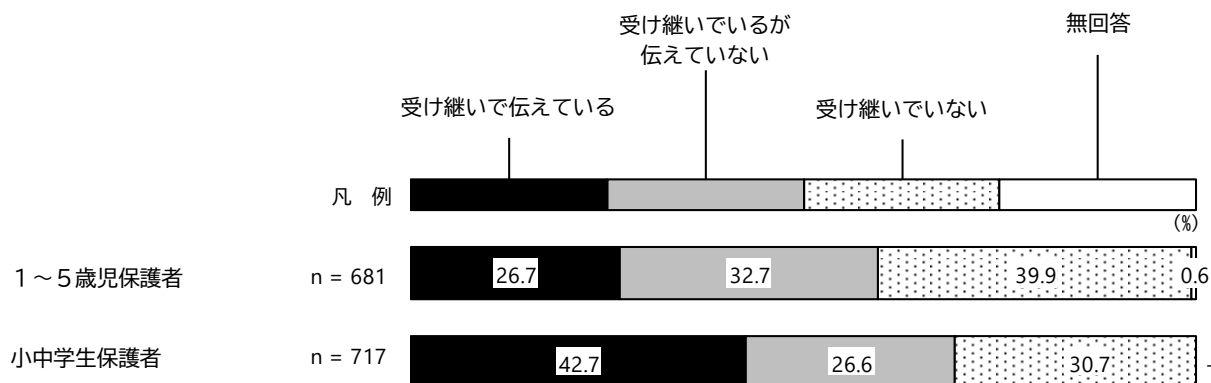
▶ 普段食品ロスを意識して何かに取り組んでいるかについては、いずれの保護者も「はい」が7割を超えている一方、子どもでは約6割となっています。



II 共通設問まとめ

2-5 地域や家庭で受け継がれた料理・味、食べ方や作法を受け継いで、次世代に伝えているか

- ▶ 地域や家庭で受け継がれてきた料理・味、食べ方や作法を受け継いで、次世代に伝えているかについて、1～5歳児保護者では「受け継いでいない」が39.9%と最も高くなっている一方、小中学生保護者では「受け継いで伝えている」が42.7%と最も高くなっています。



【地域や家庭で受け継がれた料理・味、食べ方や作法を受け継いでいるかの比較】

	富谷市		国 (農林水産省)
	1～5歳児保護者	小中学生保護者	
受け継いで伝えている	26.7%	42.7%	44.8%
受け継いでいるが伝えていない	32.7%	26.6%	18.9%
受け継いでいない	39.9%	30.7%	36.3%

※国データ(20歳以上)と本調査データ(子どもと子育て世代)の調査対象が大きく異なるため参考値として掲載する。

資料：食育に関する意識調査(農林水産省_令和7年)